

美帆 1500連勝

スピードスケートW杯 小平は500圧勝



スピードスケートW杯 小平は500圧勝

【スタバンゲル（フルウエー）時事】スピードスケートのワールドカップ（W



女子1500mで連勝し、表彰台でほほ笑む高木美帆（中央）=18日、ノルウェー・スタバンゲル（時事）

杯）第2戦、スタバンゲル大会第2日は18日、ノルウェーのスタバンゲルで行われ、女子1500mでは高木美帆（右）体大（帯南商高出）が1分55秒30で開幕戦に統いて連勝し、この種目通算3勝目を挙げた。菊池彩花（富士急）は5位。同500mでは小平

奈緒（相澤病院）が37秒07で優勝した。小平は昨季から同種目のW杯出場レースで12連勝とし、通算13勝目。奈我こなみ（ホテル東日本）は16位だった。男子500mでは山中大輔（電算）が34秒65で2位で12連勝とし、通算13勝目。奈我こなみ（ホテル東日本）は16位だった。男子500mでは山中大輔（電算）が34秒65で2位で12連勝とし、通算13勝目。奈我こなみ（ホテル東日本）は16位だった。

「しつくりこない」
高木美帆（右）は、2週間空く。「どこか無理して体を使っている部分もあるのか」と表情はまっすぐだった。

△：女子1500mで連勝した高木美帆の喜びは控えめだった。レース内容には満足できず、「伸びている感覚が（開幕戦の）ヘーレンフェインの方があつたし、コーナーの（刃）かみ具合もしつくりこなかつた」。2位に1秒以上の差をつけた。課題ばかりが口を突いた。
△：第3戦までは2週間空く。「どこか無理して体を使っている部分もあるのか」と表情はまっすぐだった。

連日のリンク小平△：小平が立った女子500mの目標の一つに、「低地リンクで36秒台がある。昨季36秒75の日本記録を樹立したが、標高1000mを超えるカルガリー（カナダ）での記録。低地での36秒台はまだ誰も到達していない領域だ。17日の1レース目で、今季最速の37秒08で滑った。この日に向けて期待は高まり、「36秒台は」という数字が見えた。△：最初の100mはやや遅れたが、その後はしなやかに水を蹴つて加速。17日に第2カーブで滑りを乱した反省を生かし、「落ち着いて滑れた」。残りの400mは出場選手中ただ一人の26秒台で37秒07。目標には届かなかったが、2位に大差をつけて、リンク記録をきらに0秒01縮めた。

田中大輔（日本電産サンキヨー）は13位。Bクラスの長谷川翼（日本電産サンキヨー）は5位。大和田司（味のちぬや北翔大（白樺学園高出）は8位、後藤卓也（福井県体協）は8位、近藤太郎（NANエアポートサービス）は20位だった。Bクラスの三輪準也（ライツトラボ）は8位、小田卓朗（開発計画研究所）は11位。女子1500mBクラスの高橋菜那（ダイチー山梨学院大、白樺学園高出）は17位だった。

上山ルダ（日本電産サンキヨー）は13位。Bクラスの長谷川翼（日本電産サンキヨー）は5位。大和田司（味のちぬや北翔大（白樺学園高出）は8位、後藤卓也（福井県体協）は8位、近藤太郎（NANエアポートサービス）は20位だった。Bクラスの三輪準也（ライツトラボ）は8位、小田卓朗（開発計画研究所）は11位。女子1500mBクラスの高橋菜那（ダイチー山梨学院大、白樺学園高出）は17位だった。

△：女子1500mで連勝した高木美帆の喜びは控えめだった。レース内容には満足できず、「伸びている感覚が（開幕戦の）ヘーレンフェインの方があつたし、コーナーの（刃）かみ具合もしつくりこなかつた」。2位に1秒以上の差をつけた。課題ばかりが口を突いた。
△：第3戦までは2週間空く。「どこか無理して体を使っている部分もあるのか」と表情はまっすぐだった。

△：女子1500mで連勝した高木美帆の喜びは控えめだった。レース内容には満足できず、「伸びている感覚が（開幕戦の）ヘーレンフェインの方があつたし、コーナーの（刃）かみ具合もしつくりこなかつた」。2位に1秒以上の差をつけた。課題ばかりが口を突いた。
△：第3戦までは2週間空く。「どこか無理して体を使っている部分もあるのか」と表情はまっすぐだった。

△：女子1500mで連勝した高木美帆の喜びは控えめだった。レース内容には満足できず、「伸びている感覚が（開幕戦の）ヘーレンフェインの方があつたし、コーナーの（刃）かみ具合もしつくりこなかつた」。2位に1秒以上の差をつけた。課題ばかりが口を突いた。
△：第3戦までは2週間空く。「どこか無理して体を使っている部分もあるのか」と表情はまっすぐだった。